



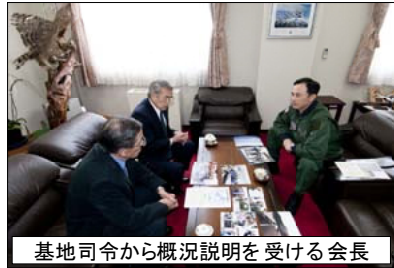
# 東日本大震災に想う

千鷲会会長 朝倉 範夫

この度の東日本大震災によって、ご親族あるいはお知り合いの方の財産を失われた方、家を失われた方、生活を余儀なくされた方、難生活をおられる多くの方々に心からの哀悼と見舞いを申し上げます。

また、福島原子力発電所の損壊をも誘発し、国難とも言える事態のなかで、いち早く現地に派遣され、身の危険を顧みず捜索救助・避難民支援・被害復旧等に活動中の多くの自衛隊員および米軍人に深甚の敬意と感謝を申し上げます。

千鷲会としても何らかの役割にしたいというおせいなにかかわらず残念ながらも直ちに行動に移れる状況にはないため、被災地への義援金は各自の適宜な判断によることとし、会員の総意による災害派遣中の隊員への激励として、激励品の



基地司令から概況説明を受ける会長

を航空幕僚長及び基地司令にお渡しした次第です。

今回の国難から本格的な復興には農林水産を含め十年も二十年ともかかる必要があるだろうといわれています。これは現在の子ども達が将来の主役となつてこれらを担うことを意味しており、青少年に対する教育訓練の重要性がより一層増したと見えます。昨年度の本会事業計画にボ



ランティア活動を掲げました。この度、同じ地域貢献を掲げ、同様に、一年度と同様、過日、千歳市奨学基金への寄付を行いました。この度の状況への対応にも通じているものであります。

事業計画に基づく総会・懇親会の時期が近づきました。最近の季節懇親会の会員の参加がやや低調で寂しい限りです。ご多忙ではありまじょうが万障お集り合せて下さるようお願いいたします。

紙面を借りてお願する次第です。

(第3号) 発行 千鷲会

## 災害派遣隊員に激励品贈呈



会長から「劣悪な環境の中で救助活動に役立てて欲しい」と菓子類など激励品が基地司令に手渡された。

三月三十日、千鷲会は東日本大震災に伴い災害派遣隊員に激励品を贈呈した。

この日、朝倉会長と白木事務局長は千歳基地を訪れ、



給水支援を行なう隊員



倒壊家屋での捜索救護活動



炊き出しでおでんを配る隊員



支援物資を配分する隊員



千鷲会から送られた菓子類

**被災地で活躍する千歳基地隊員**  
(写真提供：北部航空方面隊)

**千鷲会の会員数**  
(四月一日現在)

正会員 674名  
賛助会員 16社  
個人 13名

## 各紹介

- 新入会員**
- ◎正会員
    - 村田 由友 飛群本
    - 村上 達典 基群本
    - 沼倉 薫 補給隊
    - 中村 雅美 3群本
    - 野崎 康寛 修理隊
    - ◎賛助会員
      - 五十嵐桂一 個人
      - 武田 光義
      - 多田 栄一
      - 小黒 保衛

## 投稿記事募集

会員皆様方の活動状況を掲載いたします。ボランティア、趣味、論評などジャンルは問いません。自薦、他薦大歓迎です。

投稿先及び問合せ先  
〒422-0295  
国井 28局4302

# 千鷲会が激励

## 操縦者等冬季水上保命訓練

千歳基地の操縦者等冬季水上保命訓練が三月七日、千歳川で行なわれ千鷲会から会長以下八人が見学した。その際、参加隊員に激励品を渡した。

訓練には若いパイロットのほか2空団司令、所在部隊長も参加。水



温一・五度の中で耐寒保命方法や精神力を鍛えていた。



飛行群司令に激励品を手渡す朝倉会長

## 奨学基金に寄付



千歳市長に奨学基金を手渡す会長 (写真中央)

このたびの東日本大震災により被害を受けられた方々には、心からお見舞いを申し上げます。

北の大地、北海道にも新緑の春が到来し、何事にも動じないかのような自然界の凛とした姿には、改めて力強いものだと感じさせられています。一方、日々のテレビ・新聞等の報道に接し、気分は重く、つつい沈みがちとなりますが、自然界の強靭さを見習い、元気に、そして明るくありたいものだと思います。



千鷲会参与 佐藤 敏博(千歳市在住)

そこで、再生日本、新たな時代への糧・教訓になればと思ひ、最近の大事事件等を総括すること致しました。最近の大事事件等とは……「東日本大震災」及び「福島原発事故」、さらには昨年の「尖閣事案」であり、これらへの一連の我が国、我が政府の対応に関する事です。かつてドゴールは「政治を主導するのは官僚ではなく、政治家だ。そして、それを最終的に決めるのは、国民自身で

ある。」との言葉を残しています。対応への報道は、現政権、その弱腰振りやビデオの非開示決定プロセス、さらには危機対応の際の指導力の欠如、情報発信のあり方等を批判してあります。これまでの対応等から、ドゴールの発した言葉の重みを改めて

相互の絆をいっそう強固なものにするとともに、日夜を問わず肅々と任務や業務に邁進する後輩達の活動を支え、あるいは尖閣と同様に北方四島の返還等、地域に直結する問題への関心・貢献にも、組織的かつ継続的に行なっていくことが、重要であると思っております。

感じています。しかし、この政権、政府を選択したのは、紛れも無く私達自身です。そして、負の遺産を背負うのは、私達大人だけにとどまらず、子供達、孫達の世代にも及ぶものなかもしれません。日本の未来のためにも、この国のあり方に強く関心を持ち、「政権をも選択する権利とその責任の重さ」を、決して忘れてはならないと、思います。今後は、千鷲会活動を通じながら、

ある。」との思いを強く認識し、頑張る未来に向けて、今しばらくはやせ我慢が必要な時期です。今一度「政治は、政治家が行なうが、それを決定するのは国民自身で

千鷲会は昨年度の事業計画に基づき三月三十日、千歳市の奨学基金に三万円を寄付した。同日、朝倉会長と白木事務局長が市役所を訪れ、市長から山口市長に寄付金を手渡した。

同ボランティア活動は二十一年につき二回目。



## 人物紹介 国井 勇治

「地域の子どもたちを冬に楽しませたい」との思いから、毎年「雪像」を制作し、市内の各施設に展示しています。雪像制作は、市内の各施設に展示しています。雪像制作は、市内の各施設に展示しています。



平成二十三年新春の集いが二月二十五日、エアポートホテルアネックスで開かれた。会には正会員、賛助会員七十五人が参加。アトラクションでは賛助会員の今野さんが新春にふさわしい日本舞踊で花を添えるなど会場は終始、和やかな雰囲気であった。



## 平成二十三年新春の集い